

関西音楽人のちから『集』石巻復興のちから IN 石巻コンサートについて

2015/04/23(木)「集」コンサート石巻実行委員 森 俊英

関西音楽人のちから『集』

2011年、東日本大震災を受け、「音楽で支援したい！」という思いを持った関西音楽人有志が集結したクラシック（オーケストラ・合唱）の団体です。

チャリティコンサートは、参加者全員（プロ・アマ問わず）が5,000円の参加費（＝義援金）を支払い、さらにチケットノルマ（3枚分）を課すという出演者の完全手出しによって開催されています。

石巻地区との縁

大阪音楽大学の和泉耕二副学長が、石巻市住吉小・住吉中、石巻高校（38回生）出身ということが縁になっています。震災後、大阪音楽大学では、本田耕一副理事長を中心にした御尽力により、2011年11月、大音大クラリネットオーケストラと合唱団による小中学校やホテルロビーでのコンサート、12年2月には、プロ演奏者の編成になるザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団による門脇小・中学校、石巻専修大学、女川全小中学校でのコンサートを開催しています。関西音楽人のちから『集』の井村誠貴代表、牧村邦彦副代表は共に大阪音楽大学の出身者でもあり、平成24年3月には石巻を訪問、被災状況をつぶさに視察された結果、チャリティコンサートでは、石巻をピンポイントで支援していくことに決定しています。

これまでの演奏会と義援金額 演奏会：大阪ザ・シンフォニーホール

第1回	2011年5月8日（日）	義援金額	4,300,031円
第2回	2012年5月5日（祝）	義援金額	5,242,154円
第3回	2013年5月6日（祝）	義援金額	5,644,231円
第4回	2014年5月6日（祝）	義援金額	8,701,683円
第5回	2015年5月6日（祝）	開催予定	

義援金総額は、23,888,099円に上り、第1回のみ日本赤十字社に、以後は石巻市、第4回は石巻市・東松島市・女川町に贈呈され、子ども達の教育費として活用されています。

彼らの痛いほどの思い

◎昨年の演奏会の予算書には、出演者義援金（スタッフを含む）320名×5,000円＝160万円、お客様義援金チケット収入1,812名＝394万円とあります。石巻の義援金には少なくとも2,200名の思いが込められており、当日はさらに会場募金も行なわれています。870万円には、関西の多くの人々の被災地への思いが込められています。

◎今回の石巻での合同コンサートに参加するため、関西音楽人の皆様の手出しは一人当たり6～7万円になります。石巻側実行委員会から、学生の演奏者も多く、大阪でのコンサート収益金は当てられないのかという意見が出されましたが、井村代表は「義援金には、関西の一人ひとりの思いが込められています。それを使うわけにはいきません。」ときっぱり否定されています。義援金は義援金として、石巻演奏会当日、それぞれの首長さんにしっかりお渡しするということでした。

◎今回のコンサートでも歌われる和泉耕二曲・石田邦彦詞「石巻・わがふる里」は、大阪音楽大学の本田耕一先生がCDを作成し、毎年、石巻地区の中学校卒業生に希望を取り、無償で贈呈しています。

なぜ、音楽と無縁の私が？

「お二人の先生との出会い」があります。私の娘が音大でご指導いただいたのが、和泉真弓先生。「石巻出身？主人も石巻よ」がスタートです。そして、ドキュメンタリー映画「3月11日を生きて」等の製作委員会の代表をお願いしたのが、石巻芸術文化振興財団理事長の阿部和夫先生です。

映画製作には3,000万円を超える費用が必要でしたので、和泉先生を通じて大阪音楽大学にもお願いしました。そこで実現したのが「とよなか音楽月間・大阪音楽大学創立100周年記念プロジェクト 東日本大震災被災地復興支援上映会&ミニコンサート～ドキュメンタリー映画『3月11日を生きて』」です。2013年11月10日、大阪音楽大学ミレニアムホールで開催されたこの上映会には、阿部先生と私も招待を受けました。豊中市議会議員等多くの方々に足を運んでいただき、会場から被災地に対する熱い思いが伝わってきました。私は行きがかり上、間に入っただけで、実際には、このお二人のお力が、今回のコンサート開催の大きな推進力となっているのです。